

日本公共政策学会 会報 No.79 2025年4月

PPSAJ Newsletter Public Policy Studies Association, Japan

1. 2025年度研究大会開催案内
2. 「公共政策フォーラム 2025 in 養父」開催案内
3. 理事会記録（第146回）
4. 新入会員紹介
5. 総会・理事会開催のお知らせ
6. 事務局からのお知らせ

1. 2025年度研究大会開催案内

共通テーマ：公共政策学の再構築

開催場所：金沢歌劇座（石川県金沢市）

開催日：2025年6月14日（土）・15日（日）

企画委員：木下 健（福岡工業大学）、清水 唯一朗（慶應義塾大学・委員長）、杉谷 和哉（岩手県立大学）、藤田 由紀子（学習院大学）、箕輪 允智（東洋大学）、八木 信一（九州大学）、横田 明美（明治大学）

2025年度研究大会開催趣旨

2025年度研究大会企画委員長 清水唯一朗（慶應義塾大学）

日本公共政策学会 2025年度研究大会は、2025年6月14日（土）・15日（日）に、金沢歌劇座（石川県金沢市）での開催を予定しております。大野智彦委員長をはじめ、準備にあたってくださっている大会実行委員会のみなさまに心から御礼申し上げます。

本大会の共通テーマは、「公共政策学の再構築」です。昨年度の共通テーマ「公共政策と時間」を踏まえ、来年の学会創立30年を見据えて設定いたしました。理論、方法、分析、実践を架橋する公共政策学を扱う私たちが、これから何を捉え、進んでいくのか、創立30年という節目を前に、公共政策学のこれまでを振り返るとともに、次の時代に向けた理論的・実践的な発展を展望する場としたいと考えております。

2つの共通論題、5つの企画委員セッションに加え、今年は10名の若手報告、12名の個人報告、2つの企画セッションが立ちました。積極的なご応募に感謝申し上げます。本大会が、みなさまの活発な意見交換を通じて、公共政策研究の発展に寄与する機会となることを願っております。

研究大会プログラム（2025年3月24日現在。敬称略）

第1日目 2025年6月14日（土）

9時30分～ 入室開始

10時00分～11時30分 若手セッション

<若手セッションⅠ>

司会：小田切 康彦（徳島大学）

報告1：内山 卓也（日本大学大学院）「浜松市における『祭り』の政治的機能」

討論：新川 達郎（同志社大学）

報告2：正岡 祥英（法政大学大学院）「自治体議会や行政における「高校生議会」の潮流とその類型化の検討—日本のシティズンシップ教育に与える影響の可能性—」

討論：杉岡 秀紀（福知山公立大学）

報告3：武村 純一（龍谷大学大学院）「京都市青少年科学センターの社会的役割に関する一考察」

討論：加瀬 武之（衆議院事務局）

<若手セッションⅡ>

司会：西村 宣彦（北海学園大学）

報告1：酒井 秀翔（東京大学大学院）「行政委員会委員のジェンダーと実質的代表：教育委員会会議録の分析」

討論：出雲 明子（明治大学）

報告2：高木 超（慶應義塾大学大学院）「『プラ製レジ袋の提供禁止に関する条例』の政策過程」

討論：伊藤 修一郎（学習院大学）

<若手セッションⅢ>

司会：高野 恵亮（大阪公立大学）

報告1：吉田 隆紘（京都大学大学院）「能率とその散らばり：特許情報標準データによる分析」

討論：湯浅 孝康（大阪国際大学）

報告2：氏居 綾香（秋田大学）「日本における洋上風力発電拡大に向けた展望と課題」

討論：横田 匡紀（東京理科大学）

報告3：居石 杏奈（総務省情報通信政策研究所）「安全保障を巡る規制慣行の創造：なぜ米国政府で軽減合意は普及したのか？」

討論：村上 裕一（北海道大学）

<若手セッションⅣ>

司会：片山 泰輔（青山学院大学）

報告1：永田 右京（岩手県立大学大学院）「ウィキッド・プロブレムとしての「地域公共交通」政策領域と政策展開に関する一考察—「新しい公共」概念に基づく言説分析を下敷きに—」

討論：長野 基（東京都立大学）

報告2：山下 瞬（東京大学大学院）「自治体における見直し条項の定量分析——自治体における応答的
法ないし評価法務の確立に向けて——」

討論：磯崎 初仁（中央大学）

11時30分～12時45分 昼休み

11時35分～12時40分 理事会

12時45分～14時45分 個別テーマセッション①

<企画委員会セッションⅠ：EBPMの学際的展開に向けて>

司会：杉谷 和哉（岩手県立大学）

報告1：西村 君平（東北大学）「エビデンスの四類型：評価論の観点から」

報告2：桐村 豪文（大阪教育大学）「教育政策におけるエビデンス活用の在り方」

報告3：清水 雄也（京都大学）「EBPMの哲学的難所：因果推論と政策形成の間」（仮題）

討論：奥田 恒（金沢大学）

中村 絢子（国際大学）

<企画委員会セッションⅡ：財政民主主義の現在地>

司会：八木 信一（九州大学）

報告1：吉弘 憲介（桃山学院大学）「ポピュリズムは財政に何をもたらすのか—大阪における大阪維新
の会の政策運営を材料に」

報告2：諸富 徹（京都大学）「『103万円の壁』と租税民主主義」

報告3：掛貝 祐太（茨城大学）「『直接民主主義＝ポピュリズム』なのか？：財政議会主義の課題と対策」

討論：鷺見 英司（日本大学）

佐野 亘（京都大学）

<自由公募セッションⅠ>

司会：箕輪 允智（東洋大学）

報告1：河 昇彬（韓国外国語大学）・京 俊介（中京大学）「イノベーション政策としての著作権法の立
法過程—フェアユース制度導入の日韓比較分析—」

討論：尾田 基（國學院大學）

報告2：白取 耕一郎（大谷大学）「政策波及における異時点間選択—ビネット実験を用いたミクロな意
思決定の分析—」

討論：前田 貴洋（琉球大学）

報告3：吉井 弘和（慶應義塾大学）・松村 智史（名古屋市立大学）「厚生労働省の政策立案環境の変化
に関する研究—アウトソーシングの増大と、官僚の役割に着目して—」

討論：出雲明子（明治大学）

<国際交流委員会セッション：Future(s) of democracy in Asia: Innovations, limitations, and academic challenges>

司会：Shunsaku Komatsuzaki (Hiroshima University, Japan)

報告1：Tsuey-Ping Lee (National Chung Cheng University, Taiwan) “Taiwan’s Democratic Laboratory: AI Applications for Transparent and Inclusive Governance”

報告2：Piyapong Boossabong (Chiang Mai University, Thailand) “Utilizing Digital Technology to Enhance Democratic Policy Design Processes: Lessons from Chiang Mai City Lab, Thailand”

報告3：Makoto Fujiu (Kanazawa University, Japan) TBD.

討論：Yukio Adachi (Kyoto University, Japan)

15時00分～17時00分 <共通論題I「学際分野としての公共政策学のこれから」>

司会：清水 唯一朗（慶應義塾大学）

報告1：松田 憲忠（青山学院大学）「公共政策学をとりまく苦悶」（仮）

報告2：牧原 出（東京大学）「公共政策をめぐる時間と空間」

報告3：土山 希美枝（法政大学）「課題解決の総合性、専門の分化性」

討論：石橋 章市朗（関西大学）

田中 孝男（九州大学）

17時10分～17時40分 会長講演

宇佐美 誠（京都大学）「ポピュリズムの時代における公共政策学の課題」（仮）

17時40分～18時30分 総会(含、開催市長ごあいさつ)、学会賞授与式

19時00分～21時00分 懇親会（会場：石川県政記念しいのき迎賓館）

第2日目 2025年6月15日（日）

9時00分～ 入室開始

9時30分～11時30分 個別テーマセッション②

<自由公募セッションII（企画）：「戦後地域開発再考—政治による事前調整の不在と争訟化」>

司会：阿部 昌樹（大阪公立大学）

報告1：徳久 恭子（立命館大学）「地域開発をめぐる名望家ネットワークによる利益表出と「系列」による調整」

報告2：稲垣 浩（國學院大学）「着工をめぐる問題の広域化と政治による調整」

報告3：加藤 雅俊（立命館大学）「裁判闘争の非意図的な帰結—諫早湾干拓紛争からみる「司法と政治のダイナミズム」と紛争処理に向けて—」

討論：手塚 洋輔（大阪公立大学）

阿部 昌樹（大阪公立大学）

<自由公募セッションIII>

司会：小西 真樹（横浜市役所）

報告1：福森 憲一郎（日本大学）「デンマークの社会住宅地区における協働型ガバナンス」

討論：新川 達郎（同志社大学）

報告2：小島 大知（長野大学大学院）「地方自治体における高齢者移住の受け入れ状況に関する検討—福祉マグネットの観点から長野県 77 市町村を対象に—」

討論：西岡 晋（東北大学）

報告3：馬場 健司（東京都市大学）「再生可能エネルギー施設立地に伴う近隣住民の立地プロセスへの関与意向の分析(仮)」

討論：八木 信一（九州大学）

<企画委員会セッションⅢ：政治コミュニケーション研究の展開—メディアと感情政治—>

司会：木下 健（福岡工業大学）

報告1：岡田 陽介（拓殖大学）・後藤 心平（広島経済大学）・戸田 香（京都女子大学）・遠藤 勇哉（大阪大学）・河村 和徳（東北大学）「非言語情報としての声の違いがアナウンサーの印象およびニュースの認知に与える影響」

報告2：三谷 文栄（日本大学）「感情・メディア・政治」

報告3：大森 翔子（法政大学）・浅野 良成（関西大学）・金子 智樹（東北大学）・谷口 将紀（東京大学）「公共機関による偽・誤情報への注意喚起に効果はあるか？：サーベイ実験による検証」

討論：小林 哲郎（早稲田大学）

<自由公募セッションⅣ>

司会：横田 明美（明治大学）

報告1：大村 華子（京都大学）「『公共政策の行政評価』に対する市民からの評価に関する分析」

討論：小林 悠太（広島大学）

報告2：早瀬 善彦（同志社大学）「公共政策と制度—なぜ制度をうまく活用できる政治家とできない政治家がいるのか—（仮）」

討論：山谷 清秀（大阪経済大学）

報告3：久保田 唯史（京都大学、早稲田大学）「政策立案の場は科学的知見をどう扱うのか：政策現場における「正統性」からの分析」

討論：杉谷 和哉（岩手県立大学）

11時30分～12時20分 昼休み

12時20分～14時20分 個別テーマセッション③

<自由公募セッションⅤ（企画）：エビデンスに基づく政策形成の実相と展望>

司会：祐野 恵（京都大学）

報告：吉澤 剛（関西学院大学）「知識利用から見る EBPM と STI 政策の現在地（仮）」

報告1：黒河 昭雄（神奈川県立保健福祉大学）・菊地 乃依瑠（政策研究大学院大学）「政策形成過程における研究利用の動態と実践的示唆」

報告2：田原 敬一郎（未来工学研究所）・安藤 二香（未来工学研究所）・吉澤 剛（関西学院大学）「政策立案者と政策研究者との共創による研究課題の設定：科学技術行政における試行結果をもとに」

報告3：安藤 加菜子（京都大学）・祐野 恵（京都大学）「EBPM と行政の専門性：博士人材の活用に関する国際比較」

討論：内山 融（東京大学）

佐野 亘（京都大学）

<自由公募セッションVI>

司会：木下 健（福岡工業大学）

報告1：野村 陽子（新見公立大学）「看護系大学における政策教育プログラムの開発と今後の課題」

討論：南島 和久（龍谷大学）

報告2：岩崎 和隆（神奈川県）「地方分権と自治体統一システム構想」

討論：大西 淳也（津田塾大学）

報告3：新倉 純樹（KDDI 総合研究所）「性格特性が政治的態度に与える影響」

討論：増田 知也（摂南大学）

<企画委員会セッションIV：「複雑化した公共ガバナンス時代における職員・民間事業者・市民」>

司会：箕輪 允智（東洋大学）

報告1：田井 浩人（北海学園大学）「「公務員」はどのように形作られるのか—自治体新人職員の組織適応と態度形成—」

報告2：竹内 直人（京都橘大学）「公共ガバナンスからみる自治体のウェル・ビーイング政策」

報告3：渡邊 有希乃（専修大学）「「効率と平等」と公共調達」

討論：工藤裕子（中央大学）

<企画委員会セッションV：立法過程における法学と法学者～刑事立法をめぐる学際的問題提起>

司会：横田 明美（明治大学）

報告1：横田 明美（明治大学）「立法過程における法学と法学者のかかわり方～問題意識の共有と全体像」

報告2：仲道 祐樹（早稲田大学）「刑事立法学の現状：刑法学と刑事立法のかかわり」

報告3：京 俊介（中京大学）「刑事政策に関する立法過程における法学者：「抑止効果」論に注目して」

報告4：武藏 勝宏（同志社大学）「刑事立法の決定過程—その特徴と変化」

討論：4 報告のあと、報告者間でコメントを行う。

14 時 30 分～16 時 30 分 <共通論題II：政策評価の再構築—課題と展望>

司会：藤田 由紀子（学習院大学）

報告1：亀井 善太郎（立教大学）「行政評価の『いま』と『これから』」

報告2：黒田 忠司（内閣官房）「実務者視点の政策評価と行政事業レビューの現状」

報告3：村上 裕一（北海道大学）「政策評価の新展開：社会の変化に対応するために」

討論：山谷 清志（同志社大学）

大竹 文雄（大阪大学）

【会場のインターネット環境】

一部の部屋を除き、会場が提供する wifi をご利用頂けます。SSID、パスワード等は、当日受付にてご案内します。ただし、回線状況が不安定な場合も想定されますので、接続を保証するものではありません。必要なファイルは予めダウンロード頂くか、各自で wifi ルーターをご持参頂くなどの対応をお願い致します。

【託児サービス】

学会として提供するものではありませんが、会場近辺には金沢市による一時預かり施設があります。いずれも、金沢市民以外も利用可能です。学会として特に利用枠を確保しているものではありませんので、各自お申し込みの上、ご利用下さい。なお、託児サービスの利用にかかる費用に対しては、学会より一定の補助を充てることを検討しております。詳細については、今後学会ホームページ等で告知いたします。

- ・ 21 世紀美術館 託児室（会場から徒歩 1 分程度） 076-220-2815
- ・ 近江町ちびっこ広場（1 日 4 時間以内の利用、会場からバス 5 分程度） 076-260-6724

【連絡先】

名古屋大学大学院環境学研究科 大野智彦 loc.ppsaj2025kanazawa@gmail.com

2. 「公共政策フォーラム 2025 in 養父」開催案内

2025 年度公共政策フォーラム委員会

委員長 小西 真樹

(1) テーマ

「未来を紡ぐ 市民・地域・公共がともに挑戦するまちづくり～選ばれる中山間地を目指して～」

(コンセプト)

養父市まちづくり計画では、2050 年の養父市の目指す姿を「居空間」という造語で表現しています。これは、将来の養父市が、市内外に住むあらゆる人にとって「居心地がよい」、「住み続けたい」と感じられる「場」、「空間」としての「居空間」となるよう育むことにより、持続可能な養父市を次世代につないでいくための未来を思い描いた構想です。

中山間地の多くの自治体と同様に、養父市も少子高齢化や人口減少に直面し、それに伴う様々な地域課題を抱えています。このため、移住・定住や子育て支援などの若者世代への魅力向上、社会的処方を取り入れ、全ての世代の人々が健康的で生き生きと生活できる地域コミュニティの創出、それを支える交通等のインフラ網の整備や新たな手段の確保、地域経済の好循環を生むための施策など、幅広い分野で取組を展開していますが、課題解決には至っていないのが現状です。

一方、これらの取組を実効性の高いものにするためには、市民、地域、公共が一体となり挑戦していくことが不可欠です。さらに、市内の方だけではなく、「養父市とつながりを持ちたい」と考えてくれる方々にまちづくりの輪を広げ、多様な主体による新たな視点を取り入れることも必要としています。

持続可能な養父市であるために、「養父市に住みたい」、「養父市とつながりを持ちたい」と感じられる魅力ある養父市、選ばれる養父市を目指し、これまで養父市と直接つながりがなかった皆さんから、大学生ならではの柔軟かつ大胆、斬新なアイデア・ご提言をお待ちしています。

また、養父市は国家戦略特区に指定されています。規制緩和や制度改革を推進する仕組みであるこの制度では、指定された区域で法令や規制の適用範囲が緩和されることにより、新たな産業の育成や観光資源の活性化、地域経済の振興に向けた挑戦が可能です。この制度を活用した新たな規制緩和を求める提案も大いに歓迎します。

そして最後に、皆さんが、養父市とつながりをもつ新たな「つながり人口」となっていただけることを期待しています。

(養父市の紹介)

養父市は、2004年4月1日、兵庫県養父郡の八鹿町・養父町・大屋町・関宮町の4町が合併して成立しました。人口20,918人、世帯数9,014世帯(2025年2月末時点)、兵庫県北部の但馬地域の中央に位置し、面積は422.91平方キロメートルで、そのうち約84%が森林面積となっています。市全体が過疎地域に指定されており、高齢化率は40.5%(2025年2月末時点)です。

市東部を一級河川円山川が南東から北東の方向に流れ、その支流の八木川に沿って八鹿、関宮地域が、大屋川に沿って養父、大屋地域が位置しています。西部には県下最高峰の氷ノ山や鉢伏山、ハチ高原、若杉高原が、北部には妙見山がそびえるなど、雄大で美しい自然に囲まれています。気候は日本海型で、一般的に多雨多湿、冬季は大陸から季節風が吹き、積雪も多い地域です。

市内の主要道路として、京阪神と山陰地方を結ぶ主要な地域幹線道路である国道9号が東西に、姫路方面と山陰地方を結ぶ国道312号が南北に通っています。また、2012年11月に北近畿豊岡自動車道八鹿氷ノ山IC及び養父ICが供用開始となり、大阪・神戸から約2時間で到着することができます。市内には、JR山陰本線が通っており、八鹿駅及び養父駅から京阪神への所要時間は約2時間です。また、市の北約10kmの豊岡市内にある但馬空港から大阪空港までは約35分で結ばれています。

養父市の農業は豊富な水資源による水稻生産を中心としているほか、有機農業の取組も積極的に推進しています。また、但馬牛やブロイラー飼育などの畜産業も盛んです。基幹産業である観光では、山岳高原地域におけるスキーやスノーボード、登山などのアウトドアスポーツや学生による夏合宿などで多くの観光客・訪問客が養父市を訪れています。また、近年では明延鉱山や中瀬鉱山などの近代化産業遺産を活用した観光にも力を注いでいます。

2014年には、国と自治体・事業者が協力して規制緩和や制度改革を推進する国家戦略特区に指定され、人口減少や高齢化の進行、農業の担い手不足や耕作放棄地の増加などの地域課題を解決するため、企業による農地取得の特例や農家レストラン設置に係る特例、道路運送法の特例(自家用自動車による旅客運送)などの規制緩和に取り組んでいます。

(2) 開催会場

会場：養父市立やぶ市民交流広場 (YB ファブ)

所在：兵庫県養父市八鹿町八鹿 538 - 1

TEL：079-662-0070

ホームページ：<https://www.city.yabu.hyogo.jp/bunka/>

※公共政策フォーラムに関するお問合せは実行委員会事務局へお願いいたします。

(3) 開催日

2025年12月6日(土)・7日(日)

(4) 政策コンペへの参加方法など

(A) 開催要領の公開

- ・学会ホームページ及び養父市ホームページにて、2025年5月上旬(大型連休明け)に公開する予定です。しばらくお待ちください。

(B) 参加申込方法

- ・参加は1ゼミ1チームとします。
- ・参加できる学生は学部生に限ります。大学院生は参加できません。
- ・参加を希望するチームは開催要領とともに公開される「参加申込書」を学会ホームページ及び養父市ホームページからダウンロードし、実行委員会事務局へご提出ください。
- ・参加申込書の提出方法は、電子メールによることとする予定です。
- ・参加申込書の提出期限は、7月上旬を予定しています。

(C) 審査資料の提出

- ・参加申込以降に、以下の審査資料を提出いただきますのでご準備ください。

① 審査用論文の提出

- ・【提出期限】2025年11月7日(金)
- ・1万字程度(図表含む)の論文を実行委員会事務局へご提出ください。
- ・論文はWord形式のデータでご提出ください。
- ・提出方法は、電子メールによることとする予定です。
- ・提出後に校正を行い、11月14日(金)に校了のうえ確定版とします。

② 当日発表資料の提出

- ・【提出期限】2025年11月28日(金)
- ・発表スライドを実行委員会事務局へご提出ください。
- ・スライドはパワーポイント形式のデータでご提出ください。
- ・提出方法は、電子メールによることとする予定です。

(D) 発表テーマ設定、現地調査等について

- ・各チームの発表テーマ設定にあたっては、上記(1)のテーマと関連性のあるものとしてください。なお、関連性について不明な点がある場合は、実行委員会事務局へ電子メールでお問合せください。
- ・養父市役所への質問は、実行委員会事務局へ電子メールでお問合せください。実行委員会事務局から市役所各部局に取り次ぎしご回答いたします。
- ・現地調査を予定しているチームで、調査先の紹介を希望する場合は、発表テーマの概要・調査時期・調査内容・調査希望団体(市役所各部局含む)等を記載した「事前調査票」を実行委員会事務局へ電子メールでご提出ください。事前調査票の様式や調査までの流れについては開催要領とともに公開する予定です。
- ・調査先との調整に時間を要する可能性がありますので、できるだけ早めに事前調査票をご提出ください。なお、現地調査の受入が可能となった場合、調査先との日程調整は各チームが直接行ってください。

(5) 宿泊

宿泊施設は各自でご手配くださいますようお願いいたします。なお、養父市は市域が広く交通手段も限られています。宿泊施設から会場や鉄道駅までの距離、交通手段などを十分ご確認ください。

(参考) やぶ市観光協会ホームページ <https://www.yabu-kankou.jp/sightseeingcategory/stay>

近隣の主な宿泊施設 (会場・鉄道駅から自動車です約 5~10 分)

○Hotel IKUE 様 (ホームページ: <https://hotelikue.jp/yoka/>)

○兵庫県立但馬長寿の郷 様 (ホームページ: <https://www.choju.jp/>)

○道の駅但馬楽座 様 (ホームページ: <https://www.tajima-rakuza.com/rakuza>)

※道の駅但馬楽座様については、2025年6月30日(月)までは、12月6日(土)の宿泊を公共政策フォーラム用のため全室(洋室3部屋各1名、和室14部屋各最大5名)確保してありますので、「公共政策フォーラム参加者」と伝えれば先着順で予約可能です。当該日以降は部屋の確保が解除されます。なお、当該日までは12月6日(土)の宿泊予約は電話予約のみとなりますのでご注意ください (TEL: 079-664-1000)。

(6) 交通アクセス

(A) 養父市までの交通アクセス

①自動車

[大阪、神戸方面から]

(中国自動車道) → 吉川 JCT → (舞鶴若狭自動車道) → 春日 IC → (北近畿豊岡自動車道) → 養父 IC 又は八鹿氷ノ山 IC → 養父市内へ (約 1 時間 30 分~2 時間)

[京都方面から]

(京都縦貫自動車道) → 千代川 IC → (一般道で丹波篠山方面へ) → 丹南篠山口 IC → (舞鶴若狭自動車道) → 春日 IC → (北近畿豊岡自動車道) → 養父 IC 又は八鹿氷ノ山 IC → 養父市内へ (約 2 時間 30 分)

[姫路方面から]

(播但連絡自動車道) → 和田山 JCT → (北近畿豊岡自動車道) → 養父 IC 又は八鹿氷ノ山 IC → 養父市内へ (約 1 時間 30 分)

②鉄道 (2025年3月15日時点、土日ダイヤ)

- ・新大阪駅から特急こうのとりに乗り、JR 山陰本線八鹿駅で下車 (約 2 時間 20 分)

新大阪駅 08:06 → 八鹿駅 10:32 八鹿駅 09:58 → 新大阪駅 12:29

新大阪駅 09:04 → 八鹿駅 11:26 八鹿駅 12:01 → 新大阪駅 14:29

新大阪駅 10:05 → 八鹿駅 12:24 八鹿駅 13:55 → 新大阪駅 16:28

新大阪駅 12:05 → 八鹿駅 14:27 八鹿駅 16:00 → 新大阪駅 18:28

新大阪駅 17:05 → 八鹿駅 19:41 八鹿駅 19:19 → 新大阪駅 21:42

- ・京都駅から特急きのさきに乗り、JR 山陰本線八鹿駅で下車 (約 2 時間)

京都駅 07:32 → 八鹿駅 09:26 八鹿駅 07:57 → 京都駅 10:06

京都駅 11:25 → 八鹿駅 13:22 八鹿駅 11:04 → 京都駅 13:06

京都駅 13:25 → 八鹿駅 15:24 八鹿駅 12:57 → 京都駅 15:06

京都駅 15:25 → 八鹿駅 17:30 八鹿駅 15:02 → 京都駅 17:06

京都駅 18:28 → 八鹿駅 20:43 八鹿駅 16:58 → 京都駅 19:07

- ・三ノ宮駅から特急はまかぜに乗り、JR山陰本線八鹿駅で下車（約2時間10分）
 - 三ノ宮駅 08:12 → 八鹿駅 10:19 八鹿駅 07:40 → 三ノ宮駅 09:39
 - 三ノ宮駅 12:42 → 八鹿駅 14:39 八鹿駅 14:47 → 三ノ宮駅 16:46
 - 三ノ宮駅 18:27 → 八鹿駅 20:48 八鹿駅 17:44 → 三ノ宮駅 19:46

③高速バス（2025年3月15日時点）

- ・大阪から全但バス高速バス「豊岡・城崎温泉方面」に乗り、「扇町土木所前」又は「八鹿駅」で下車（約2時間40分）
 - 大阪 09:20、新大阪 09:30 → 扇町土木所前 11:52、八鹿駅 11:55
 - 大阪 18:20 → 扇町土木所前 20:44、八鹿駅 20:47
 - 八鹿駅 12:46、扇町土木所前 12:49 → 大阪 15:18
 - 八鹿駅 16:26、扇町土木所前 16:29 → 新大阪 19:06、大阪 19:16
 - 八鹿駅 18:26、扇町土木所前 18:29 → 大阪 20:58
- ・神戸（三宮）から全但バス高速バス「豊岡・城崎温泉方面」に乗り、「扇町土木所前」又は「八鹿駅」で下車（約2時間15分）
 - 神戸（三宮） 12:30 → 扇町土木所前 14:52、八鹿駅 14:55
 - 神戸（三宮） 17:30 → 扇町土木所前 19:52、八鹿駅 19:55
 - 八鹿駅 07:12、扇町土木所前 07:15 → 神戸（三宮） 09:28
 - 八鹿駅 11:01、扇町土木所前 11:04 → 神戸（三宮） 13:18

(B) 会場までの交通アクセス

- ①自動車：北近畿豊岡自動車道八鹿氷ノ山ICより10分程度
- ②鉄道：JR山陰本線八鹿駅より西南へ徒歩10分程度
- ③高速バス：「八鹿駅」又は「扇町土木所前」下車、徒歩10分程度
- ④路線バス：「八鹿駅」から鉢伏線、秋岡線、湯村温泉線、八鹿豊岡線に乗り「諏訪町」下車すぐ
又は「八鹿駅」から和田山中央公園線、山口生野線、明延線、若杉線、井ノ坪線に乗り「やぶ市民交流広場前」下車すぐ
※「八鹿駅」から「諏訪町」まではバス停2つ、「八鹿駅」から「やぶ市民交流広場前」まではバス停3つの距離になります。

(C) 八鹿駅から近隣の宿泊施設までの交通アクセス

- Hotel IKUE 様
 - ・自動車：約5分程度
 - ・路線バス：「八鹿駅」から鉢伏線、秋岡線、湯村温泉線、八鹿豊岡線に乗り「ペア前」下車すぐ
- 兵庫県立但馬長寿の郷 様
 - ・自動車：約10分程度
 - ・路線バス：「八鹿駅」から鉢伏線、秋岡線、湯村温泉線、八鹿豊岡線に乗り「国木下」下車、徒歩20分程度
※バス停から施設まで坂道を1.3kmほど歩きますので、自動車又はタクシーの利用をお勧めします。
- 道の駅但馬楽座 様
 - ・自動車：約10分程度

- ・路線バス：「八鹿駅」から和田山中央公園線に乗り「上野」下車、徒歩5分程度
- ※運行本数が非常に少ないため、自動車又はタクシーの利用をお勧めします。

※最新情報・詳細は各自で十分ご確認ください。

※高速バス・路線バスの時刻表・運賃・空席検索・バス乗場案内・運行状況は全但バス公式ホームページをご確認ください。[\(https://www.zentanbus.co.jp/\)](https://www.zentanbus.co.jp/)

※養父市内のタクシー事業者は下記のとおりです。タクシーを利用する場合は事前予約をし、配車手続きを行ってからご利用ください。

- ・あいあいタクシー（TEL：079-664-2833）
- ・全但タクシー（TEL：079-662-4128）
- ・丸八観光タクシー（TEL：079-662-6208）

※公共政策フォーラム当日は、1日目（12月6日）終了後及び2日目開始前（12月7日）は近隣宿泊施設－会場間のシャトルバスを運行する予定です。詳細は決定次第、参加チームに連絡します。

（7）実行委員会事務局（予定）

名称：養父市経営企画部経営政策・国家戦略特区課

所在：兵庫県養父市八鹿町八鹿 1675 番地

TEL：079-662-7602

E-Mail：kikakuseisaku@city.yabu.lg.jp

養父市ホームページ：<https://www.city.yabu.hyogo.jp/>

（8）参考情報

- ・養父市まちづくり計画（第3次養父市総合計画、第2期まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略）
<https://www.city.yabu.hyogo.jp/soshiki/kikakusomu/kikaku/Yabucitymachidukurikeikaku/11781.html>
- ・養父市まちづくり基本条例
https://www.city.yabu.hyogo.jp/section/reiki_int/reiki_honbun/r026RG00001005.html
- ・養父市行政改革大綱
https://www.city.yabu.hyogo.jp/soshiki/kikakusomu/kikaku/2_1/899.html
- ・養父市公共施設等総合管理計画
<https://www.city.yabu.hyogo.jp/soshiki/seibi/miraika/10/1412.html>
- ・養父市過疎地域持続的発展計画
<https://www.city.yabu.hyogo.jp/gyosei/kakushukeikaku/machizukuri/3937.html>
- ・養父市人権教育及び啓発推進計画
https://www.city.yabu.hyogo.jp/soshiki/shiminseikatsu/jinken/3_1/1408.html
- ・養父市男女共同参画プラン
<https://www.city.yabu.hyogo.jp/soshiki/shiminseikatsu/jinken/4/1153.html>
- ・養父市地域福祉計画
https://www.city.yabu.hyogo.jp/gyosei/kakushukeikaku/fukushi_kenko/3914.html

- ・養父市高齢者福祉計画・介護保険事業計画
<https://www.city.yabu.hyogo.jp/soshiki/kenkofukushi/kaigo/5019.html>
- ・養父市障がい者計画・養父市障がい福祉計画
https://www.city.yabu.hyogo.jp/soshiki/kenkofukushi/shakaifukushi/1_1/7501.html
- ・健康やぶ 21（養父市健康増進計画・養父市健康づくり推進プラン・養父市母子保健計画・養父市自殺対策計画）
https://www.city.yabu.hyogo.jp/gyosei/kakushukeikaku/fukushi_kenko/9018.html
- ・養父市食育推進計画
<https://www.city.yabu.hyogo.jp/soshiki/kenkofukushi/kenkoiryo/9/11444.html>
- ・養父市子ども・子育て支援事業計画
<https://www.city.yabu.hyogo.jp/gyosei/kakushukeikaku/kyoiku-kosodate/5947.html>
- ・養父市子育てガイドブック
<https://www.city.yabu.hyogo.jp/soshiki/kodomoyumeegao/kosodateoen/2/11018.html>
- ・養父市教育大綱
https://www.city.yabu.hyogo.jp/soshiki/kyoikuiinkai/kodomo_manabi/kyoikuiinkai/kyoiku_taikou.html
- ・養父市教育振興基本計画
<https://www.city.yabu.hyogo.jp/gyosei/kakushukeikaku/kyoiku-kosodate/4090.html>
- ・養父市景観計画
<https://www.city.yabu.hyogo.jp/gyosei/kakushukeikaku/kankyou-keikan/3103.html>
- ・養父市大屋町大杉伝統的建造物群保存地区保存計画
<https://www.city.yabu.hyogo.jp/soshiki/kyoikuiinkai/shakaikyoiku/1/denken/1815.html>
- ・養父市空家等対策計画
<https://www.city.yabu.hyogo.jp/gyosei/kakushukeikaku/kankyou-keikan/akiya/7772.html>
- ・養父市環境基本計画
<https://www.city.yabu.hyogo.jp/gyosei/kakushukeikaku/kankyou-keikan/kankyo/9498.html>
- ・養父市地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）
https://www.city.yabu.hyogo.jp/soshiki/sangyokankyo/kankyo/1_2/2/index.html
- ・養父市バイオマス産業都市構想（養父市バイオマス活用推進計画）
<https://www.city.yabu.hyogo.jp/soshiki/sangyokankyo/norinshinko/2/7903.html>
- ・養父市住宅マスタープラン
https://www.city.yabu.hyogo.jp/soshiki/seibi/miraika/1_4/1138.html
- ・やぶ市まち基盤整備計画（養父市都市計画マスタープラン）
<https://www.city.yabu.hyogo.jp/gyosei/kakushukeikaku/toshikeikaku/3073.html>
- ・養父市水道ビジョン
<https://www.city.yabu.hyogo.jp/soshiki/seibi/jogesuido/863.html>
- ・養父市人と環境にやさしい農業ビジョン
<https://www.city.yabu.hyogo.jp/soshiki/sangyokankyo/norinshinko/2/organicagriculture/10637.html>
- ・養父市オーガニックビレッジ宣言・養父市有機農業実施計画

<https://www.city.yabu.hyogo.jp/soshiki/sangyokankyo/norinshinko/2/organicagriculture/10636.html>

- ・養父市酪農・肉用牛生産近代化計画

<https://www.city.yabu.hyogo.jp/soshiki/sangyokankyo/norinshinko/chikusan/8556.html>

- ・地域未来投資促進法に基づく兵庫県養父市基本計画

<https://www.city.yabu.hyogo.jp/soshiki/sangyokankyo/shoko/1/967.html>

- ・養父市強靱化地域計画

<https://www.city.yabu.hyogo.jp/gyosei/kakushukeikaku/bousai-anshin-anzen/7176.html>

- ・養父市地域防災計画

<https://www.city.yabu.hyogo.jp/gyosei/kakushukeikaku/bousai-anshin-anzen/4948.html>

- ・養父市国民保護計画

<https://www.city.yabu.hyogo.jp/gyosei/kakushukeikaku/bousai-anshin-anzen/3874.html>

- ・養父市の財政・予算・決算について

<https://www.city.yabu.hyogo.jp/soshiki/kikakusomu/somuzaisei/2/index.html>

- ・養父市の統計調査について

<https://www.city.yabu.hyogo.jp/soshiki/kikakusomu/hisho/2/index.html>

- ・養父市の国家戦略特区について

<https://www.city.yabu.hyogo.jp/soshiki/kikakusomu/kikaku/soseika/index.html>

- ・養父市の定住促進制度について

<https://www.city.yabu.hyogo.jp/soshiki/shiminseikatsu/yabugurashi/2/index.html>

- ・養父市のふるさと納税について

https://www.city.yabu.hyogo.jp/soshiki/shiminseikatsu/yabugurashi/1_2/furusato.html

- ・養父市の観光情報について（養父市観光協会ホームページ）

<https://www.yabu-kankou.jp/>

3. 理事会記録(第 146 回)

開催日時：2025 年 1 月 11 日（土）9 時 30 分～11 時 40 分

会場：Zoom 会議

出席者：宇佐美誠、秋吉貴雄、野崎祐子、石橋章市朗、岩崎正洋、大野智彦、岡崎加奈子、加瀬武之、片山泰輔、勝田美穂、菊地端夫、工藤裕子、窪田好男、小田切康彦、小西敦、小西真樹、小松崎俊作、佐藤丙午、佐野亘、清水唯一朗、関智弘、田中孝男、玉井雅隆、手塚洋輔、南島和久、西岡晋、西村宣彦、野口暢子、藤田由紀子、松元雅和、三田妃路佳、村上裕一、祐野恵、田口一博、永田尚三

委任欠席者：鈴木潔、高野恵亮

欠席者：嶋田暁文、玉井良尚

報告事項

1. 2025 年度研究大会企画について（2025 年度研究大会企画委員長）

・2025年度研究大会企画委員長の清水唯一朗理事より、大会のタイムスケジュール、企画公募の開始、企画委員会による企画内容の案について報告がされた。

・共通論題

＜共通論題Ⅰ「学際分野としての公共政策学のこれから」＞担当委員：清水唯一朗

報告者：土山希美枝（法政大学）、牧原出（東京大学）、松田憲忠（青山学院大学）

討論者：石橋章市朗（関西大学）、田中孝男（九州大学）

司会：清水唯一朗（慶應義塾大学）

＜共通論題Ⅱ「政策評価の再構築—実務の動向と評価研究の課題」＞担当委員：藤田由紀子

報告者：亀井善太郎（立教大学・入会予定）、黒田忠司（内閣官房・非会員）、村上裕一（北海道大学）

討論者：山谷清志（同志社大学）、大竹文雄（大阪大学・非会員）

司会：藤田由紀子（学習院大学）

・企画委員会セッション

「政治コミュニケーション研究の展開—メディアと感情政治」担当委員：木下健

報告者：岡田陽介（拓殖大学）、三谷文栄（日本大学・入会予定）、大森翔子（法政大学・非会員）

討論者：木下健（福岡工業大学）、小林哲郎（早稲田大学・非会員）

司会：木下健（福岡工業大学）

「EBPMの学際的展開」担当委員：杉谷和哉

報告者：桐村豪文（大阪教育大学・入会予定）、清水雄也（京都大学・非会員）、西村君平（東北大学・入会予定）

討論者：奥田恒（金沢大学）、中村絢子（国際大学）

司会者：杉谷和哉（岩手県立大学）

「法学研究（者養成）における「立法論」「法政策学」の再検討？」担当委員：横田明美

報告者・討論者：武蔵勝宏（同志社大学）、京俊介（中京大学）、仲道祐樹（早稲田大学・非会員）、横田明美（明治大学）

司会：横田明美（明治大学）

「財政民主主義の現在地」担当委員：八木信一

報告者：諸富徹（京都大学）、吉弘憲介（桃山学院大学・非会員）、掛貝祐太（茨城大学・非会員）

討論者：鷺見英司（日本大学）、佐野亘（京都大学）

司会：八木信一（九州大学）

「複雑化した公共ガバナンス時代における公共サービスとその境界」担当委員：箕輪允智

報告者：（依頼中）

討論者：（同上）

司会：箕輪允智（東洋大学）

*上記とは別に、国際交流委員会セッション、政策実務家連携WGセッションが予定されています。

2. 2025 年度研究大会について（2025 年度研究大会実行委員長）

・2025 年度研究大会実行委員長の 大野智彦 理事より、大会の開催の概要や懇親会費の設定について報告がされた。

3. 2024 年度公共政策フォーラムについて（事務局）

・2024 年度公共政策フォーラム委員長の 田川寛之 会員に代わり、松元雅和 事務局長より、「公共政策フォーラム 2024 in 会津若松」が 11 月 9 日、10 日に無事に開催されたことが報告された。宇佐美会長より、開催へ尽力された田川委員長をはじめ会津若松市関係者へ感謝が伝えられた。

4. 2025 年度公共政策フォーラムについて（2025 年度公共政策フォーラム委員長）

・2025 年度公共政策フォーラム委員長の 小西真樹 会員より、「公共政策フォーラム 2025 in 養父」の実施に向け、兵庫県養父市と調整を続けていることが報告された。

・宇佐美会長より、開催地における宿泊場所の確保について留意する必要があることについて指摘があった。

5. 『公共政策研究』（第 24 号）について（2024 年度年報委員長）

・2024 年度年報委員長の 手塚洋輔 理事より、『公共政策研究』（第 24 号）が昨年末に会員へ郵送されたことが報告された。

6. 『公共政策研究』（第 25 号）について（2025 年度年報委員長）

・2025 年度年報委員長の 西岡晋 理事より、前回理事会以降、年報委員会において特集テーマの選定と執筆依頼が行われ、第 1 特集を「規制国家時代の公共政策」とし、各分野の 6 名に執筆依頼を行う予定であること、また第 2 特集を「批判的政策研究の射程」とし、各分野の 3 名に執筆依頼を行う予定であること、書評対象書籍の選定及び執筆依頼、巻頭言の執筆依頼を今後行う予定であることが報告された。

6. 2025 年度学会賞選考状況について（学会賞選考委員長）

・学会賞選考委員長の 秋吉貴雄 副会長より、1 月 17 日に応募を締め切り、選考が行われる予定であることが報告された。

7. TASPAA 大会について（宇佐美会長）

・宇佐美会長より、MOU を締結した TASPAA に関して、相互の大会における参加登録料を免除すること、また今年度の TASPAA 大会は 4 月 25・26 日に国立東華大学で開催されること、また今後学会 HP 等で告知する予定であることが報告された。

8. 大学コンソーシアム京都（2024 年 12 月 15 日）の表彰について（宇佐美会長）

・宇佐美会長より、2024 年 12 月 15 日に第 20 回京都から発信する政策研究交流大会授賞式に参加し、公共政策学会賞と副賞の授与を行ったことが報告された。

9. 公共政策研究 23 号の J-Stage への掲載について（事務局）

・松元雅和事務局長より、発刊 1 年が経った公共政策研究 23 号の J-Stage 掲載をすすめる予定であることが報告された。

10. 学会 HP リニューアル状況について（事務局）

・松元雅和事務局長より、学会新 HP が昨年末に公開されたことが報告された。

11. その他

・松元雅和事務局長より、会報 78 号を昨年末に刊行したこと、会報 79 号を 4 月に刊行予定であることが報告された。

・松元雅和事務局長より、各委員会の活動費について年度末までに会計処理を行うことが報告された。

・松元雅和事務局長より、前理事会で執行部に一任された入会申込書のフローについて、検討の結果、さしあたり現行通りで進めていくことが報告された。

審議事項

12. 国際学会（ICPP7）パネル助成について（2025 年度国際交流委員長）

・2025 年度国際交流委員長の小松崎俊作理事より、2025 年 7 月にタイ・チェンマイで開催予定の ICPP7 のパネルに応募する会員に対するパネル助成について、2 件の応募があり、委員会にて審査を行った結果、評価が極めて拮抗したものとなったため、助成規定にある限度額 48 万円を均等に分割して、24 万円ずつを両方のパネルに助成する案が提案され、承認された。

・また、2025 年度研究大会において国際交流セッションを企画する方向であり、2～3 月には検討を終えるべく、委員会内で議論が継続されていることが報告された。招聘者に対する旅費支給補助に関する質問があった。

13. 政策実務家連携ワーキンググループについて（ワーキンググループ長）

・政策実務家連携 WG の田中孝男 WG 長より、以下のような検討状況が説明された。「地方自治」を専門としている会員をメンバーとして、ズームによる会議を 2 回開催した。連携の対象層として、(1) 実務家会員で大学院生であるなど研究志向の強い層（研究志向実務家会員）、(2) 実務家会員であるが必ずしも研究志向が強くない層（一般実務家会員）、(3) 非会員の自治体職員を挙げたうえで、(1) については論文の書き方講座や論文（構想）の報告会、ポスターセッション、オーサーズトークなどの（学術）論文の作成支援、(2) については事例報告会や事例報告を受けたテーマによるシンポジウムを通じて学会の活動に一般実務家会員が関わりやすくすること、(3) については事例報告会・シンポジウムや新たな会員区分の設定を通じて実務家に対して「公共政策」に関する関心をもってもらうことが挙げられた。加えて、関連学会、有志の学習・研究グループ、公共政策フォーラムとの連携などのアイデアも紹介された。

・理事より、日本評価学会における研修委員会や編集委員会での取り組みについて紹介があった。また、負担軽減のため、現在ある仕組みを活用することが有効であることや、中長期的課題として取り組みを進めるべきとの指摘があった。公共政策フォーラムへの参加に関してもアイデアや提案が示された。学会 HP 等の周知やシンポジウム・動画配信等の情報発信が必要であるとの指摘もあった。

14. 倫理綱領の策定について（宇佐美会長）

・宇佐美会長より、研究公正・ハラスメントに関する倫理綱領の策定のため、ワーキンググループを設置すること、WG 長の人選については会長に一任することが提案され、審議の結果、承認された。

15. シニア会員制度について（事務局）

・松元雅和事務局長より、シニア会員制度の導入にあたり、終身会員として一括金を支払う制度とする会員規程の改正案が提案され、審議の結果、承認された。

16. 国際文献社との 2025 年度契約について

・松元雅和事務局長より、学会事務を委託している国際文献社との契約を 2025 年度も更新したいとの提案があり、審議の結果、承認された。

17. 学会メーリングリストの運用について（事務局）

・松元雅和事務局長より、学会 ML を通じて会員に情報提供するための仕組みとして、配信依頼フォームを準備すること、フォームの策定は事務局に一任することが提案され、承認された。

18. 学会ホームページの運用、幹事の選任について（事務局）

・松元雅和事務局長より、事務局内にホームページの運用を担当する幹事を置き、幹事候補者を福森憲一郎氏（日本大学法学部専任講師）として、事務局長とともにホームページ管理者とすることが提案され、承認された。

19. 会員異動について

- ・松元雅和事務局長より、9 名の入会申請、6 名の退会申請があったとの報告がなされ、審議の結果、了承された。
- ・理事会後の会員数は、個人会員が 921 名、団体会員が 5 団体となった。

4. 新入会員紹介

第 146 回理事会で承認された新入会員

9 名の方が新規に入会されました。

5. 総会・理事会開催のお知らせ

次回総会開催予定

- ・開催日時：2025 年 6 月 14 日（土）17 時 40 分～（含、開催市長ごあいさつ）
- ・会場：金沢歌劇座、Zoom 併用予定

第 147 回理事会

- ・開催日時：2025 年 4 月 19 日（土）9 時 30 分～
- ・会場：Zoom

第 148 回理事会

- ・開催日時：2025 年 6 月 14 日（土）11 時 35 分～12 時 40 分
- ・会場：金沢歌劇座、Zoom 併用予定

6. 事務局からのお知らせ

2025 年度年会費納入のお願い

個人会員は 8,000 円/年(大学院生の会員は 5,000 円/年。ただし、大学院生の会員は、年度当初に在学証明書の提出が必要)、団体会員は 50,000 円/年です。2024 年度以前の年会費未納の会員の方は、未納分も含めて納入をお願いいたします。年会費未納の会員の方は、会員名簿、会報、学会誌の受領、大会・フォーラムへの参加、連携団体の会合出席等の会員サービスを受けられないことがありますので、ご注意ください。よろしくお願いいたします。

口座番号は次のとおりです。

郵便局

郵便振替口座：00850-0-216663
加入者名：日本公共政策学会

他金融機関からのお振込の場合

ゆうちょ銀行
店番：089(店名：ゼロハチキュウ)
当座預金：0216663
加入者名：日本公共政策学会

会員名簿の取扱にご注意ください

会員の皆様におかれましては、過去の発行分の会員名簿は厳重に保管いただき、取扱にはくれぐれもご注意ください。よろしくお願いいたします。

日本公共政策学会 会報 第 79 号

2025 年 4 月 10 日発行

編集・発行

日本公共政策学会事務局

〒101-8375

東京都千代田区神田三崎町 2-3-1

日本大学法学部

松元雅和 研究室

学会メールアドレス：jimukyoku@ppsa.jp

学会ウェブサイト：<http://www.ppsa.jp/>

郵便振替口座：00850-0-216663 日本公共政策学会

PPSAJ Newsletter No.79, April 2025

Copyright 2025 Public Policy Studies Association, Japan